

エアーモーター攪拌機の使用条件

運転用供給エアーについて

中央理化製エアーモーター攪拌機の運転には下記条件のエアー環境が必要です。

ドライクリーンエアー …………… エアー圧力：0.3～0.63MPa

エアー量：各機種エアー消費量をご参照ください。

ドライ／フィルター装置(ドライセパレーター) …………… エアー内の水分と15ミクロン以上の異物除去(弊社よりご案内可能)

レギュレーター …………… 供給エアー圧力制御/攪拌機運転速度制御(弊社よりフィルター・レギュレーター3点セットご案内可能)

各エアー配管 …………… エアーチューブやエアー配管継手等

- ドライクリーンエアーとは、エアー内に水分や異物が含まれていないエアーです。
 - ・コンプレッサーからのエアーには、水分や異物が含まれている場合があります。
→ 水分を除去するドライ装置、15ミクロン以上の異物をフィルター除去したエアーをご使用ください。
 - ・オイルタイプのコンプレッサーは、エアー内に微量のオイルが含まれている場合があります。
→ 弊社エアーモーター攪拌機は、オイルレス仕様につき、オイルミストを除去したエアーをご使用ください。
- 上記のように、水分／異物／オイルを除去したエアーをレギュレーターに接続し、3m以内のエアー配管を介し、攪拌機のエアーモーターに接続します。(推奨エアーチューブ配管口径は取扱説明書をご参照ください。)
- 運転速度(回転数)の調節は、1次側のレギュレーター操作による供給エアー圧力調節によって制御可能です。
- 排気は攪拌機に付属のサイレンサーから排出されます。
排気用エアー配管をユーザー様にて接続いただくことも可能ですが、背圧が0.1MPaを超えないようご注意ください。

エアーモーター攪拌機運転用エアー配管参考図

コンプレッサー

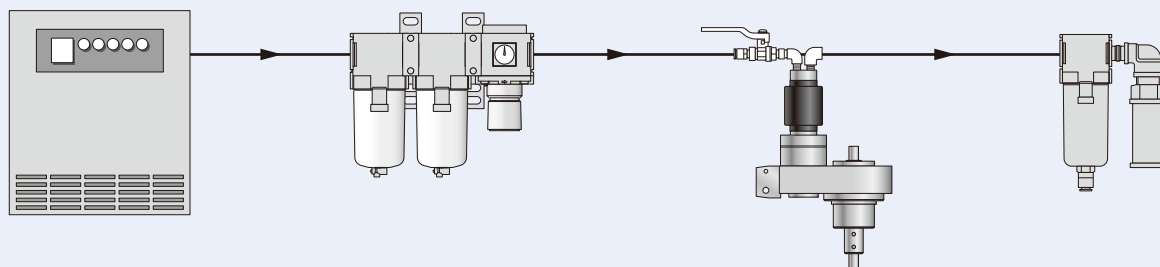
エアー3点セット

エアーモーター攪拌機

サイレンサーフィルター

圧力調整(0.3～0.6MPa)

排気エアー



設置・ご使用環境について

エアーモーター攪拌機の非接液部(エアーモーター部や減速機部)には水分がかからないようご注意ください。



屋外での使用時は、雨避けなどの対策が必要です。

エアーモーター内部や減速機内部に水分や異物が混入した場合、早期故障の原因になります。

詳細の運転条件、環境については、弊社Webサイト上の取扱説明書をご確認ください。